

# CUCM トレースを読んで解釈するための Voice Log Translator ( VLT ) の使用

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[Cisco VLT のインストール](#)

[サポートされているプロトコル](#)

[Cisco VLT を使用する利点](#)

[Cisco VLT での分析](#)

[未処理の表示](#)

[詳細説明](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco Voice Log Translator ( VLT ) ソフトウェアを使用して Cisco Unified Communications Manager ( CUCM ) のトレースを読み取る方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

CUCM について十分に理解しておくことをお勧めします。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、CUCM バージョン 8.X 以降および Cisco VLT に基づくものです。

## Cisco VLT のインストール

Cisco VLT をサポートするには、x86 ハードウェア プラットフォームで動作する次のいずれかのオペレーティング システムが必要です。

- Microsoft Windows : Microsoft Windows 8、Microsoft Windows 8.1、Microsoft Windows 7 ま

- または Microsoft Windows Vista、XP、2003 または 2000
- Linux の場合 Red Hat Linux バージョン 9 および Red Hat Enterprise Linux AS バージョン 3.0

Microsoft Windows および Linux の両システム上で、VLT ソフトウェアはスタンドアロン アプリケーションまたはトレース コレクション ツールであるリアルタイム モニタリング ツール ( RTMT ) のプラグインとして実行できます。

このドキュメントでは、トレースを有効にして収集する方法については説明していません。詳細については、バージョン 7.x 用の [シスコ テクニカル サポート用の Cisco CallManager トレースの設定に関するドキュメント](#) を参照してください。これは、バージョン 8.x 以降についても適用されます。

Cisco VLT ソフトウェアは [Cisco ソフトウェア ダウンロード サイト](#) からダウンロードできます。

## サポートするプロトコル

Cisco VLT ソフトウェアは次のプロトコルをサポートしています。

- H.225 および H.245
- Java Telephony API ( JTAPI )
- Media Gateway Control Protocol ( MGCP ) および Call Associated Signaling ( CAS )
- Q.931
- セッション記述プロトコル ( SDP )
- Simple Client Control Protocol ( SCCP )
- Session Initiation Protocol ( SIP )

## Cisco VLT を使用する利点

Cisco VLT を使用することには次のような利点があります。

- メッセージは表形式で表示されます。
- ( コール参照で識別される ) 特定の通話に対して、または特定のデバイスの IP アドレス、方向 ( 送信または受信 )、プロトコル、コマンド、メッセージまたはチャネルを含むすべての通話のメッセージを表示できます。
- 指定した基準の通話のメッセージを表示できます。
- コール参照別にメッセージを表示できます。各メッセージには、表示タイムスタンプ、プロトコル、発信者番号および着信者番号が含まれています。
- 通話のデバイスの IP アドレス、方向 ( 送信または受信 )、プロトコル、コマンド、メッセージ、コール参照またはチャネルが保持するテキスト文字列のメッセージを表示できます。

## Cisco VLT での分析

Cisco VLT でトレース ファイルを開きます。タイムスタンプ、コール参照、プロトコル、または発信者および着信者番号のトレースの表形式の表示を次に示します。

トレースは次のような表示設定で分析できます。

- 未処理：トレースのファイルの内容をそのまま表示します。
- 単純な変換：この表示はテキストを再編成し、単純な変換を行います。
- 詳細：この表示ではテキストが表示され、表示について詳細な説明を示します。

## 未処理の表示

トレースの未処理表示のサンプル スクリーンショットを次に示します。

## 詳細説明

同じテキストの詳細説明付きの表示を次に示します。

SDP パラメータおよびその解釈の詳細説明を次に示します。

H.225 設定の詳細説明を次に示します。

注: 詳細については、『[Cisco VLT ユーザガイド](#)』を参照してください。